

## (2) 特定中山間保全整備事業及び農用地総合整備事業

### ア 計画的で的確な事業の実施

#### 要 旨

平成20年度に完了した1区域(泉州東部区域)において、完了後の評価に係る業務(社会経済情勢の変化等に関する基礎的資料の作成を含む。)を確実に実施した。

#### (1) 調査内容

以下の調査を実施した。

表 完了後の評価に係る調査

項 目	実 施 内 容
① ヒアリング調査	事業による地域の変化を捉えるため、営農状況等を大阪府、関係市町、JA、農家等へ聞き取り。
② アンケート調査	整備した農用地や農業用道路の利用状況、効果の発現状況等を把握するため受益者にアンケートを実施。
③ 作付調査	整備した農用地の作付け状況を調査(春と秋)。
④ 交通量調査	農業用道路の一般交通の通行量を把握するため、4つの工区(6地点)において、交通量調査を実施(平日、休日の2日間)。

#### (2) 技術検討会委員の調整

技術検討会委員を選任し、就任の内諾を得た。

表 事後評価 技術検討会の委員

氏 名	専門分野	所 属 等
浅野 耕太	環境経済	京都大学 大学院人間・環境学研究科 教授
安藤 光義	農業経済	東京大学 大学院農学生命科学研究科 准教授
飯田 俊彰	農業土木	東京大学 大学院農学生命科学研究科 准教授
久保 充己	地域農業	農事組合法人いずみの里 6次産業化担当 大阪府「農の匠」の会 副会長

## 【事業完了後の状況(泉州東部区域)】

### 【農用地整備(区画整理・客土・農用地造成)】



小川西団地(区画整理・農用地造成)のいちご農園

- 整備された農地では、いちご農園や体験農園ができた。
- いちご農園は関西最大級の規模で、平成26年は約2万人の来客があった。
- 創設された非農用地には、和泉市農業交流施設ができ、いも掘りやいちごジャム作り等が行われ、農業の体験学習や農を通じた交流の場となっている。
- 事業を契機に都市農村交流が盛んに行われるようになった。



下村団地(区画整理)の田んぼアート

- 圃場の区画が整形され、耕作道及び用排水路が整備されたことで、農作業が効率的に行えるようになった。
- 農地が整備されたことで、担い手への農地の集積が進んだ。
- 事業に参加した有力農家は、事業で整備した水田約8haを借り受け、全体で17haの農地で、水稻・泉州たまねぎ・松波キャベツを栽培するとともに、6次産業に取り組むまでに成長している。

### 【農業用道路整備】



農業用道路和泉工区の木材集積状況

- 農業用道路の整備により、農産物の輸送や農作業の効率化が図られた。
- 農業用道路周辺の山林の管理や間伐材の搬出にも活用されるとともに、地域の都市農村交流の促進にも寄与している。
- 南海トラフ巨大地震等の災害発生時には、地域住民の避難路や支援物資の輸送路として利用され、地域の安心安全確保にも貢献すると考えられる。